

平成 27 年 関西 地質調査業協会 第 1 回 一般社団法人 関西地質調査業協会

～ 定時総会開催報告 ～

総務財経委員会

関西地質調査業協会は、平成 27 年 5 月 22 日（金）メルパルク大阪で平成 27 年関西地質調査業協会定時総会並びに第 1 回一般社団法人関西地質調査業協会定時総会を開催致しました。当協会は昭和 32 年に発足し、今年設立 58 年を迎え、この間当協会は広報活動や技術講演会・講習会、地質調査技士等各種資格検定試験・更新講習会、発注者との意見交換会、会員への業界情報の発信、労働安全衛生に関わる講演会・講習会、その他会員への福利厚生活動等幅広い活動を行って参りました。

最近、国や自治体と「大規模災害時における緊急対応に関する協定」を締結し、頻繁に発生している自然災害に対し、協会員が協力して災害時の緊急対応調査を実施するなど、社会的に果たす役割が益々大きくなってきています。そこで当協会では、今後更に幅広く社会貢献が出来る団体として発展させていくため、これまでの「任意団体」から社会的信用度が高い「一般社団法人」に移行することとし、平成 27 年 1 月 21 日の臨時総会で全協会員の賛同を得て「一般社団法人関西地質調査業協会」を発足し、平成 27 年 3 月 2 日からスタート致しました。

今年はその移行期間でもあり、本総会の前半を任意団体の定時総会、後半を一般社団法人の定時総会とする二部構成で総会を開催致しました。

冒頭挨拶に立った荒木繁幸理事長は、「任意団体としての 58 年間の歴史を辿ると共に、本年 3 月に発足した一般社団法人関西地質調査業協会の今後の在り方、活動方針」を説明し、協会員の理解と協力を求めました。

任意団体の総会は、荒木理事長が議長を務め、小宮副理事長による「平成 26 年度事業経過報告」、各委員会活動報告として奥田理事が「総務財経委員会報告」、窪田理事が「広報委員会報告」、束原理事が「技術並びに防災委員会報告」を行い、「平成 26 年度決算報告」を山本理事が行いました。続いて大村監事が「監査報告」を行い、質疑応答を経て、その後行われた採決で出席者全員の挙手による賛成が得られ、議案が承認されました。

引き続き行われた一般社団法人の総会についても荒木理事長が議長を務め、議事を進行了しました。議案説明として小宮副理事長が「平成 26 年度事業経過報告並びに平成 27 年度事業計画（案）」、山本理事が「平成 27 年度予算（案）」を各々説明しました。また、一般社団法人への移行に伴う「会費規程の直し（案）」を奥田理事が説明し、議案として提出しました。その後の審議、質疑を経て採決が行われ、出席者全員の挙手による賛成を得て提出された議案が承認されました。なお、平成 27 年度新役員は、荒木理事長をはじめ旧役員が再任され、その職務を引き継ぐこととなりました。

< 定時総会開催 >

日 時 : 平成 27 年 5 月 22 日 (水)
14:00 ~ 14:45 平成 27 年関西地質調査業協会定時総会
14:45 ~ 15:45 第 1 回一般社団法人関西地質調査業協会定時総会
場 所 : メルパルク大阪 ソレイユの間
出 席 者 : 全協会員 68 社の内 63 社出席 (うち委任状 24 社) 欠席 5 社



Ph-1 荒木理事長挨拶



Ph-2 審議中の総会会場

本年度「匠」認定者の表彰が行われ、石田平八郎氏に認定証とクリスタル記念盾が贈呈されました。



Ph-3 匠認定者石田平八郎氏（写真左）

長年協会活動に携わり、この度退任された下記4名の功労者の表彰が行われました。

< 協会役員歴任 >

中川 渉 氏 （応用地質株式会社 関西支社）

久保田耕司 氏 （基礎地盤コンサルタンツ株式会社 関西支社）

< 協会委員歴任 >

広報委員

小路 博之 氏 （株式会社ヨコタテック）

北 雅夫 氏 （報国エンジニアジング株式会社）



Ph-4 表彰された4名の功労者

～ 講演会 ～

定時総会に引き続きソレイユの間で講演会を開催しました。講師は、国土交通省近畿地方整備局の小俣企画部長をお招きし、「南海トラフ巨大地震に向けた取り組みと新たなステージに対応した防災・減災」と題する講演をして頂きました。講演では新潟中越地震や阪神・淡路大震災、東日本大震災の教訓をもとに、近い将来発生が予想されている南海トラフ巨大地震に備えての近畿整備局の取り組みを詳しく説明して頂きました。紀伊半島沿岸部における津波被害の予測や発生時の緊急対応を具体的な図表や写真をもって説明して頂き、いつ起こっても不思議でない身近な問題として認識することができました。また、大阪平野における津波被害についても、浸水想定範囲が広範囲にわたることが予想されていて、脆弱な大阪平野をいかにして守っていくかが我々に課せられた大きな課題であることも理解できました。そして、新たなステージに対応した防災、減災の在り方を提起して頂き、私共業界の果たす役割も益々重要となっていることを痛感致しました。

講演会には、約 70 名の協会員が参加致しました。

< 講演会 >

日 時 : 平成 27 年 5 月 22 日 (水) 16:00 ~ 17:00

会 場 : メルパルク大阪 ソレイユの間

講 師 : 近畿地方整備局企画部長 小俣 篤 様

演 題 : 「南海トラフ巨大地震に向けた取り組みと

新たなステージに対応した防災・減災」

参 加 者 : 協会員 71 名



Ph-5 講演中の小俣企画部長

～ 懇親会 ～

総会、講演会に引き続き懇親会をポヌールの間で開催致しました。国土交通省近畿地方整備局の小俣企画部長をはじめとする 10 名の来賓の方々をお招きし、協会関係者 71 名が集い、盛大に懇親会が催されました。冒頭、大阪府都市整備局技術管理課の若井健課長様からご祝辞のお言葉を頂き、公益法人地盤工学会関西支部の大島昭彦幹事長様の乾杯のご発声で懇親会を開宴致しました。この日の会場は、協会各社の経営責任者や管理職の方々一堂に会し、会員同士の親睦と情報交換が行われ、有益な歓談の場となりました。

日 時 : 平成 27 年 5 月 22 日 (金) 17:30 ~ 19:30

場 所 : メルパルク大阪 ポヌールの間

参加人員 : 来賓 10 名、協会員参加 71 名 計 81 名

本年度ご出席頂きました来賓の方々は以下の通りです。

国土交通省近畿地方整備局企画部長	小俣 淳 様
同 技術調整管理官	村上 敏章 様
同 技術管理課長補佐	冠 雅之 様
大阪府都市整備局技術管理課長	若井 健 様
西日本高速道路株式会社建設事業部長	里深 一浩 様
公益法人地盤工学会関西支部幹事長	大島 昭彦 様
一般社団法人日本応用地質学会関西支部副支部長	佐藤 和志 様
日刊建設工業新聞社大阪支社長	小掠 隆史 様
同 企画部長	泉 隆 様
協同組合関西地盤環境研究センター長	中山 義久 様



J

Ph-6 ご挨拶頂いた若井技術管理課長



Ph-7 ご臨席を頂いた来賓の方々（写真中央小俣企画部長）



Ph-8 乾杯のご発声を頂いた大島昭彦幹事長



Ph-9 懇親会会場に集う協会員